

一般質問

(一般質問は2面・3面にも掲載)



地域の喫緊な課題 早急に解決を



自民党 高橋 文雄 秦野駅南(今泉) 土地区画整理事業について

問 既存住宅が多いC地区は事業区域から除外し、現道拡幅に基づいた整備を目指しているとのことだが、都市計画の変更に対する関係機関との調整状況や、権利者への対応状況はどうか。

答 事業区域から除外できるように市内で整備方針を検討している。方針が定まった段階で権利者向けの説明会を開催する予定でいる。



散策道の整備と周辺の市道整備を



ありのままに輝く 多様な社会の構築を



公明党 中村 英仁 観光客の増加に向けた施策について

問 表丹沢魅力づくり構想を策定し、山・自然を生かした観光施策を行っているが、本市を舞台としたロケ地を活用する「ロケツーリズム」に取り組むべきと考えるが、どのようなか。

答 観光客の増加や市内経済の活性化、住民の誇りや愛着が湧くなど、効果がある観光振興施策の一つと認識している。新東名高速道路の開通を好機と捉え、撮影地を

活用した誘客策に取り組みながら、観光協会と連携し、実施について検討していく。

要望 秦野をより輝かせるため、表丹沢魅力づくり構想に加え、ロケツーリズムを導入・実施し、本市の良さを全国に発信してほしい。

二 ダイバーシティ教育について 問 人種、性別、文化などの違いを受け入れ、多様性を認め合うダイバーシティ教育が必要で、まずは、教職員の統一した研修が重要だが、その考えはどのようなか。 答 多様性について教職員への共



地域と共にある 観光・子育て・共生社会の推進を



自民・新政 風間 正子 ヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力づくりについて

問 サイクリストの休憩所や来訪者のトイレなど課題があると感じているが、ヤビツ峠・蓑毛周辺の計画策定に当たり、どのように工夫して取り組んでいくのか。

答 調査結果から担い手の後継者不足や環境整備などの課題があると認識しており、事業関係者や地域関係者などの人材を巻き込むことで実効性のある計画としていきたい。

二 子育て支援について 問 安心して出産・子育てができる環境づくりに向けてどのように取り組んでいるか。

答 子育て世代包括支援センターでの妊娠届出時から始まり、妊婦健康診査などの母子保健事業サービス、乳幼児健康診査、産後ケア事業など妊婦と家族に寄り添った支援に努めている。



ロケツーリズムによる魅力発信を

通理解を図ることは重要であり、研修会の拡充はもとより、学校評価について共通の評価項目の設定を進め意識向上を図っていく。

要望 子どもたちが平等にダイバーシティ教育を受け、生きづらさを感じず、自分らしく輝くことができる社会をつくるのが重要であり、教職員は、全体を捉えた上で、学校教育を進めてほしい。



魅力づくりの土台となる環境の整備を



人の命と暮らしを守る やさしいまちづくりへの支援を

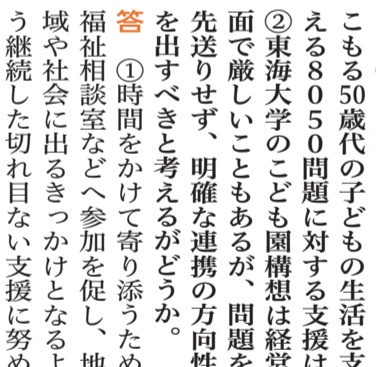


創和会 阿蘇 佳一 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの感染対策について

問 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行で、医療現場が窮乏する恐れがあるが、新型コロナウイルス

答 令和4年12月4日時点の接種率は4回目約46%、5回目約10%である。また、同時接種が可能であるため、広報などで呼び掛け、安全な接種の推進に努めていく。

二 命と未来について 問 80歳代の親が、自宅に引きこもる50歳代の子どもの生活を支援する8050問題に対する支援は、東海大学の子ども園構想は経営面で厳しいこともあるが、問題を送りせず、明確な連携の方向性を出すべきと考えるがどうか。



東海大学と連携した子育て支援を



市民に寄り添う 行政の支援を



公明党 横山 むらさき がん対策について

問 コロナ禍で進行が懸念されている悪性新生物(がん)は国民の2人に1人がかかると言われ、現代のがん社会における※ヘルスリテラシーを高めるため、がん教育は重要である。いのちの授業として小・中学校における外部講師の導入の考えはどうか。また、治療しながら働く時代であり、闘病中の患者の生きる力となる※アピアランスケアに対する助成はどうか。

答 現在は教員による授業展開だが、医療現場をよく知る外部講師の導入を含め、積極的に取り組む。アピアランスケアではウィッグ購入費などを助成する自治体もあるが、相談を受けた際は情報提供など寄り添った支援に努める。

二 マイナンバーカードについて 問 国は2024年の秋に健康保険証とマイナンバーカードを完全一体化する方針だが、本市において、医療現場をよく知る外部講師の導入を含め、積極的に取り組む。アピアランスケアではウィッグ購入費などを助成する自治体もあるが、相談を受けた際は情報提供など寄り添った支援に努める。



健康保険証との一体化が進められているマイナンバーカード



子どもたちが心安らぐ 教育環境の整備を



創和会 谷 和雄 教育環境について

問 法改正を受け小学校で一クラスが40人から35人に引き下げられたが、学校間の差はどうか。また、建設から年数が経過した校舎の、建て替えなどの考えはどうか。

答 児童数はおおむね一クラス30人程度の状況で、差は10人程度である。また、建て替え時期など、早めに方向性を示せるよう努める。

要望 建て替えには多額の費用を要するため、国の財源も活用して校舎の木質化を検討し、児童の心安らぐ教育環境の整備を要望する。

二 デジタル化の推進による地方創生について 問 プレミアム電子商品券事業が

答 空き店舗を活用する場合、末永く地域に根差した店舗となるよう建物の改装費や賃借料などを支援している。また、空き家は活用促進に係る補助金で支援している。



校舎の木質化の検討を

問 国からの貴重な財源である森林環境譲与税の活用状況はどうか。

答 ナラ枯れ対策などに活用してきたが、法改正で税の配分方法が見直された場合、本市では減額になると試算する。

要望 減額になれば、県の水源地環境保全税がさらに重要になることから県税の存続に尽力してほしい。

用語解説 ※ヘルスリテラシー…健康情報を入力・理解・評価・活用するための知識、意欲、能力であり、それにより日常生活における疾病予防などについて意思決定を行い、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの。 ※アピアランスケア…医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア。 会派の表記について …「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。